

執筆者紹介（掲載順）

鳥越輝昭	本学外国語学部教授
尹亭仁	本学外国語学部教授
細田由利	本学外国語学部教授
デビッド・アリソン	本学外国語学部教授
劉 轟	本学外国語学部助教
嚴 明	上海師範大学教授
青木 萌	本学外国語学部非常勤講師
新津吉太郎	本学大学院外国語学研究科博士後期課程
太田 強 正	本学外国語学部教授

本年度常任委員

孫 安 石	（会長・HP担当）
山 本 信 太 郎	（学生会）
郷 健 治	（研究講演会）
大 竹 弘 和	（会 計）
杉 山 崇	（『人文研究』担当）

編集後記

年末が近づくに積み残した仕事、できているはずだった仕事の多さに愕然とする人は多いのではないだろうか。
「あれもできていたはず、これもできていたはず」と焦燥感に心を染める。
そして年末年始の喧騒の中で心は新鮮に染め直され、新年の期待に胸を膨らませる。
しかし、年末が近づく、「あれもできていない、これもできなかった」と心が騒がしくなる。この繰り返しを生きている人は少なくないだろう。

人は自分に実力以上の期待をする生き物であることが社会心理学の「ボジティブ・イリュージョン」研究で示唆されている。
「できるはず」のことが全てできることは普通はありえないのだ。その中で、計画取りに本号に寄稿下さった方々の努力は素晴らしい。
「できるはず」を「できた」に変える、寄稿者の方々の努力を感じながらお読みいただければ本望である。（T・S）

人 文 研 究 第187集

二〇一五年十二月二日印刷
二〇一五年十二月二五日発行
頒価一〇〇〇円

〒三三二八六六
横浜市神奈川区六角橋三二七一
編集兼 神奈川大学人文学会
発行人 代表者 孫 安 石

印刷 株式会社 精興社
〒二〇〇五 東京都千代田区神田錦町三九
電話 〇三三二九三三〇二
FAX 〇三三二八〇八四一六